

## 世代の壁厚からず

中津市長 奥塚 正典

年配者と若者の意思疎通がむずかしいと聞きます。あるスポーツのコーチが「君たちは、牛、馬ではないだろう」と言ったところ、怪訝な顔をされたそうです。人間が牛馬を使って農作業を行っていた昔を知る人は「指示を待たずに自分でよく考えろ」の意味だろうと理解ができるのですが、機械化が進んだ現代はそうはいきません。

一方、若者は、「とりま（とりあえずまあ）」、「KY（空気が読めない）」、「草生える www（笑う）」など話し言葉も書き言葉も多様。省略、アルファベット、ネット用語の表現など年配者には意味不明です。

こういう世代間の言語ギャップは大きいように見えますが、よく考えてみると昔から常に存在しているのです。「モテる」、「マジ」など江戸時代からある言葉だそうで、これなら年配者でもなんとなくわかりますね。

流行の音楽やファッションなども時とともに移り変わるのは当たり前。それぞれの年代で多くの人が夢中になるもの、一世を風靡しその時代を飾り一時代を画するものは必ずあります。そして人は時代の流行をつくり、それが社会的文化や風俗として取り入れられていくものです。

「平成の歌姫」安室奈美恵さんが引退しました。同時代を一緒に過ごした若者にとって忘れられない存在です。引退に感動し涙する安室ファンに、「ミスタープロ野球」長嶋茂雄選手の現役引退を見た二十歳の自分の姿を思い出します。



人は、その時代の象徴的存在や流行に共感する若い時を過ごし、順番に年をとって成長していくもの。であれば、時代とともに世代間の言葉づかいが違ってても、意思疎通の壁はそんなに高く厚いものではないのではないのでしょうか。私も時には口ずさみますよ、安室さんのヒット曲、「CAN YOU CELEBRATE～♪」